

総合的な学習の時間の実践

札幌市

総合的な学習
3年

3年生らしく他国文化に触れる！

みんなの世界

<http://www.fan.hi-ho.ne.jp/douseiren/>

この指導案は、上記のHPよりダウンロードすることができます

単元の概要 と 単元構成

ALTの派遣をきっかけに、国際理解の単元を展開しました。限られた条件の中で、外国の人々や文化をどう身近なものにしていくように考慮しました。3年生らしく、身の回りのものを調べる活動を取り入れ、遊びを軸に楽しく国際理解の活動に取り組んでみました。

学習活動の流れ（30時間）

英会話の活動だけで終わらないように、事前の活動にこだわり「物集め」「質問作り」を試みました。

見慣れたアニメ映画の大半が外国映画であることに驚きました。吹き替えのため、日本のものだと思っていました。

日本の遊びに近いものも多く、外国の文化に親しむことができました。ゲームばかりの遊びを、見直す機会にもなりました。

ALTがやってくる（4）

- ・ALTの出身国（アメリカ）で作られたものを集めよう
- ・簡単な英語のあいさつをしよう
- ・ALTに質問してみたいことを考えよう
- ・Let's try English!

アメリカについてもっと調べよう（6）

- ・アメリカについて調べたことを新聞にまとめよう

好きな国の「おすすめポスター」を作ろう（10）

- ・「外国のもの探し」をして調べたい国を決めよう
- ・自分の調べたい国について調べよう
- ・「おすすめポスター」にまとめ、発表会をしよう

「外国の遊び」を調べて遊ぼう（10）

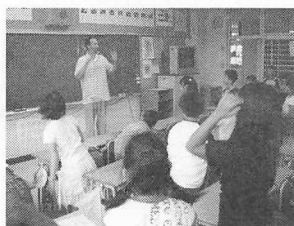
- ・外国の遊びについて調べよう
- ・学級のみんなで遊んでみよう

ALTの派遣をきっかけに、活動を構成しました。3年生にぴったりの「遊び」を通して外国の文化にふれていく学習です。体を使って楽しく学習することができます。



世界の遊びを体験

教材・活動の Point!



1. 英語で遊ぶだけでは終わらせない

ALTの授業も、3年生では単語ゲームが中心です。そこで、子供の頃の遊びについて話してくれるよう、事前に打ち合わせておきました。しかしイリノイ州農業地帯出身のALTの答えは、「ビデオ・ゲーム。ニンテンドー、PS2…」でした。意図していませんでしたが、子供たちの共感、親近感を得ることはできました。

2. 身の回りの「外国とのかかわり」に気付く

家庭にある海外ブランドや外国製品、海外旅行のお土産探しの活動から外国に興味を持たせました。その時、ただ物を見つけてくるのではなく「なぜ、家にあるのか」を調べさせたのです。両親の新婚旅行の思い出や海外出張についての話から、外国を身近に感じさせることができました。



3. 「遊び」を通して外国を身近なものに

学校図書館やインターネット上の資料を使って「外国の遊び」調べました。一人一人が調べた遊びをグループで試し、その中からグループのおすすめの遊びを決め、学級で紹介する活動をしました。子どもたちは喜んで、休み時間に遊んだり、学級の集会活動にも取り入れたりしていました。

